

# 山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi  
Veterinary Medical Association

第 724 号 令和 3 年 9 月

## 第58回（2021年度）山口県獣医学会の開催について

常務理事 酒 井 理

秋雨前線の停滞による全国的な長雨の後、ようやく晴れ間が広がった8月29日(日)、山口市防長苑において、2年ぶりの山口県獣医学会が開催されました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、県獣医学会に加え、獣医学術中国地区学会、日本獣医師会獣医学術学会など、関連する学会が全て中止となりました。

今年も、デルタ株の感染が全国的に拡大し、8月中旬には、県内でも一日の感染者数が過去最多となる状況でしたが、会員の皆様のご協力のもと、感染防止対策を徹底することで、県学会開催に踏み切りました。

感染拡大により、調査・研究が大きく制限される中、29題もの発表の申込みがありました。皆様方のたゆまぬ研鑽に、心から敬意を表したいと思います。

開会にあたり、まず、学会長の田中尚秋会長から、県獣医学会運営に携わる委員や座長等への謝辞と、本会の事業推進への協力について感謝の言葉がありました。

続いて、午前中は、産業動物部門と獣医公衆衛生部門あわせて10題の発表がありました。

この分野では、県の機関と山口大学共同獣医学部の関係者から、家畜の感染症発生状況調査や、薬剤投与試験、疾病診断方法、凍結精液の検討など、幅広い分野の研究が報告されました。

午後の部は、副学会長の白永伸行副会長の挨拶から再開され、小動物部門19題の発表がありました。

この分野では、動物病院と山口大学共同獣医部の関係者から、小動物を対象としたさまざまな症例の報告に加え、手術術式の検討、解剖学的調査、試験方法や診断方法の検討、薬剤投与の検討などの貴重な研究が報告されました。

フロアーや座長との意見交換も熱心に行われ、予定されていた終了時刻を大幅に超えて、17時過ぎに盛會裡に終了しました。

新型コロナワクチンの副反応により、一部の発表者や座長の急遽交代がありましたが、大学関係者の適切な対応により、特に混乱はありませんでした。

県学会の開催にご努力いただいた学会運営委員の皆様、進行に協力していただきました座長、山口大学共同獣医学部の学生の皆様に感謝申し上げます。

学会終了後に開催されたそれぞれの分野の学会小委員会において、今学会で発表された全ての演題を、講演動画で審査される、獣医学術中国地区学会に推薦することが決定されました。

来年（令和4年度）は、本会が引き受けて、9月に山口市において、獣医学術中国地区学会（県獣医学会を兼ねる）が開催されます。多くの発表がなされますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。



発表中の中谷幸穂先生(産業動物部門)



発表中の古川勝也先生(獣医公衆衛生部門)



発表中の網本宏和先生(小動物部門)



座長を務められる上林聡之先生(小動物部門)



質問される田中昌子先生(産業動物部門)



会場の様子

## 山口獣医学雑誌第48号の発刊について

常務理事 酒 井 理

山口県獣医学会の機関誌として、年1回発刊されている山口獣医学雑誌を今年度も発刊します。

本雑誌は、獣医学と関連領域のすべての問題について、原著、総説、短報、記録及び資料等を掲載しますので、積極的な投稿をお願いします。

投稿原稿は、下記投稿規程に従って作成していただき、令和3年10月末を目途に本会事務局あて、提

出してください。

なお、英文校正については、本会事務局が専門業者に依頼して実施します。

また、昨月号（第47号）からは、経費を節減するため、会報と同様にホームページ掲載としていますが、従前どおりの冊子を要望される方は、事務局までご連絡ください。

### 山口獣医学雑誌投稿規程

- 山口獣医学雑誌（以下、「雑誌」という。）に関する原稿の取り扱い、この規程による。
- 原稿は、Microsoft Word等のコンピューターソフトを用いて作成し、原稿（図表等を含む）の電子ファイルを学会事務局へ電子メールの添付書類にて提出する。電子メールで送信できない場合は、プリントアウトした原稿2部（図表等を含む）とそれらのファイルを保存したCD-ROM等を学会事務局あて送付する。
- 原稿は、編集委員会において審査し、原稿の採否及び掲載の順位は、編集委員会が決定する。ただし、編集委員会は、内容に応じて専門家に原稿の審査を依頼することができる。また、審査の過程で著者への修正を求め、再審査を行うことがある。
- 審査の結果、採用と認められた原稿は、雑誌の印刷発刊後においても、原則として著者へ返却しない。
- 審査の結果、不採用と認められた原稿は、原則として、受付3か月以内に返却する。ただし、この場合、不採用の理由を明らかにする義務を負わない。
- 原稿は、原則として、刷り上がり6ページ（1ページ約2,400字）以内とする。制限ページ数を超過した分およびカラー写真については、著者実費負担とすることがある。ただし、編集委員会の依頼による総説論文の原稿は、この限りではない。
- 原稿は、表紙、和文・英文抄録、キーワード、文献、図表の説明等に分けて書く。
  - 電子ファイルのフォーマット：A4版用紙に横書き、1行40字×30行（目安）、明朝体12ポイントで、フッター中央にページ番号を記載する。
  - 表紙：原稿の種類、論文表題、著者名、所属施設ならびにこれらの英訳の順に記載する。下段に連絡著者の連絡先（氏名、住所、電話・FAX番号、電子メールアドレス）を明記する。
  - 和文・英文抄録：抄録は和文、英文ともに刷り上がり1ページ以内とする。和文と英文の要約の後に、原著で5語以内、短報では3語以内のキーワードを記載する。
- 図表並びに写真は、まとめて原稿の最後につけ、論文中にそれらを置く位置を指定する。
- 引用文献は、本文に引用したものに限り、著者名、論文題名、雑誌名、巻（号）、始頁～終頁、西暦年を明記し、原則としてアルファベット順に配列し、番号をつけ、下記の様式で記載する。

#### 例 雑誌

和文： 5) 松本正弘・中村一夫：人および動物血液中の日本脳炎ウイルス中和抗体の分布と推移について. 熱帯医学, 15 (6) : 272~285. 1975.

英文： 18) Lawrence J. E. and Clark, D. H.: The Lysis of Leptospires by Antiserum. Amer. J. Trop. Med. Hyg., 24(2) : 250~260. 1975.

#### 単行本

和文： 7) 山村雄一・石坂公成：免疫化学概論, 2版: 15~18. 朝倉書店, 東京.1973.

英文： 15) Smith, H. A., Jones, T. C. and Hunt, R. D.: Veterinary Pathology. 4th ed. Lea & Febiger Pub., Philadelphia. U.S.A. 1972.

- 10 外国人名、地名などは原語のまま記述し、数字は算用数字、度量衡はメートル法による。
- 11 印刷の校正は編集委員が行う。ただし、初校は著者も行うものとし、この場合、原則として、内容の訂正は認めない。
- 12 別刷は、100部まで無償で贈呈する。それ以上の部数については、著者実費負担とする。必要部数については、初校（著者校正）のとき、原稿の右上端に朱書するものとする。
- 13 掲載論文の著作権及び電子的形態による利用も含めた包括的な著作権は、公益社団法人山口県獣医師会に帰属する。

## 理事就任に当たって



この度、新しく理事に就任いたしました石井です。

今春、県を退職して、現在、畜産関係団体に勤務しています。県に在職中には、多くの諸先輩、後輩の助けをいただきながら、家畜保健衛生所での現場業務を皮切りに、試験研究、行政などの仕事に取り組んできました。

そうした仕事の中で、獣医師会が行う学会や研修会、学術誌などを通じて得られた貴重な情報、知識などを、時として記憶の片隅から思い起こすことも

ありました。

一方、近年は、獣医学術だけに留まらず、様々な分野で獣医師が活躍する場面が増えてきているように思います。常日頃から幅広くアンテナを張って、知識、情報の幅を広げておくことが大切であると感じています。

様々な関連情報の発信や、会員相互の連携を図ることが、より魅力ある会になると思います。微力ながら尽力していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

山口支部 石井 俊 昭

(山口県畜産振興協会)

## 理事就任に当たって



この度、山口支部の推薦により新しく理事に就任しました國吉（旧姓使用中）と申します。

私は、平成元年（1989年）、農業獣医師という職種で県に採用され、家畜保健衛生所等の畜産関係職場を異動しながら、今に至っております。

採用当時、県で畜産に携わる女性獣医師には先人がいなかったため、配属先に思案されたのか、新規採用職員としては異例の中部家保病性鑑定室病理検査担当となりました。

そのため、入庁後即、つくば市にある国の研究機関である家畜衛生試験場（現：農研機構動物衛生研究部門）に、7カ月間の長期研修へと行きました。

そこでも「病理部門の研修で、女性は初めてだ

よ」と珍しがられました。

その後も何かにつけ初めてづくしではありますが、気負うことなく今あるのは、周りの方々のおかげによるものと感謝しています。

今では、県の畜産に携わる多くの女性獣医師が、当たり前のように日々活躍しており、頼もしいところです。

自己紹介になりましたが、獣医師会ではこれまで一会員として、学会や講習会等に参加する程度で、これといった貢献もしていませんので、今回、理事に推薦していただいたことを機に、大変微力ながら本会運営にお役に立てるよう努力していきたいと思っております。

山口支部 國 吉 佐知子

(山口農林水産事務所畜産部)

## リレー随筆

### 4年間続けてきたこと

皆様こんにちは。シラナガ動物病院森永先生よりバトンを預かりしました、シラナガ動物病院勤務の末田優と申します。コロナの影響もあり、お会いする機会もほとんどなくなってしまいました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。山口大学を卒業して、早くも丸4年が経ちました。とうとう30歳にもなってしまう、年々体力の衰えを感じざるを得ません…。

そんな衰えていく体力に抗うように、この4年間続けてきたことがあります。それは、バドミントンです。先日開催された東京オリンピック2020では渡辺・東野（わたがし）ペアがミックスダブルスで銅メダルを獲得しましたね。予選から結果が気になりすぎて、毎日仕事の休憩時間に速報を見ていました。ちなみに私が今使っているラケットは、東野選手と同じナノフレア700というラケットです。

バドミントンは地元奈良県で中学から高校までの6年間部活動でやっていました。シラナガ動物病院で勤務を始めてから、運動不足解消とストレス発散のため、近くでバドミントンができる場所を探しました。ネットで見つけた近場の小学校の体育館へ人見知りながら1人で乗り込みました。そこにいる人たちは年齢も職業も様々、70歳近いおじいちゃん(美脚)・警察官・介護士・いろいろな会社の社長。偶然高校の同級生にも出会いました。最近では顔もプレーも桃田選手にそっくりな人が来て、みんなでざわつききました。自分の親世代のおじさんおばさんたちのトリッキーなショットに翻弄されたり、若い子たちに早いスマッシュを打ち込まれたり、もみくちゃにされながらもなんとかやってきました。最初はゆるーく続けていくくらいにしか思っていませんでしたが、やっていくにつれてだんだんと若かりし頃の負けず

嫌いが出てきてしまい、ストレス発散どころかうまくできないせいでストレスが溜まるようになりました。それでも歳の近い友達ができて飲んだり遊びに行ったり、他の練習場所に誘ってもらってさらに交友関係も広がったり、仕事をしているだけでは出会うことがなかったであろう人たちと出会うことができ、4年前頑張っていた体育館に踏み込んだ自分を褒めてあげたいです。

昨年はコロナでほとんど試合もなかったですが、今年是对策をしながら開催されるようになりました。今また第5波が出てきてどうなるかわかりませんが、出られる試合には出て体が頑張れるまでバドミントンライフを楽しみたいと思います。もちろん、ちゃんと、仕事も、頑張ります。

旅行好きな私としては本当なら国内から海外まで旅行に行きたいところですが、この御時世なかなか県外にすら出ることもできず、家でも楽しめる趣味を探していますがなかなか見つかりません。そんな必要がなくなるよう早くコロナが終息してくれることを願います。

次は大学の先輩でもあるシラナガ動物病院の酒井治先生をお願いします！

徳山支部 末田 優  
(シラナガ動物病院)



今年6月、15歳で亡くなった祖母の愛犬「ケン」  
最期までよく頑張ってくれました。

## 牛乳いろいろ

美祢支部 鶴田 祐哉  
(農林総合技術センター畜産技術部)

この度、人生初めてパスチャライズ牛乳、ノンホモ牛乳を飲んだので、ご紹介したいと思います。パスチャライズ牛乳は低温殺菌牛乳のことで、ノンホモ牛乳とはホモジナイズ処理(脂肪球の均質化)していない牛乳です。きっかけは、自宅でモッツアレチーズが作れる、という本を図書館で見つけたことでした。ノンホモ牛乳と酢を混ぜるだけで簡単に

モッツアレチーズができることあり、コロナ禍で休日にやることもなく暇をしていたので、さっそく作ってみようとノンホモ牛乳を探しました。普段は一般的なUHT殺菌の牛乳しか買わないので知らなかったのですが、ノンホモ牛乳って全然売ってないんです。お店によってはUHTしか扱っておらず、たまにパスチャライズ牛乳が売っていても、ノンホモ

ではない・・・。山口市内を数件探しましたが見つからず、半ば諦めていた時に、防府市内のスーパーに売っていると情報を得ました。しかも聞くところによると、そこにはなんとブラウンスイス牛の牛乳（これもパスチャライズ・ノンホモでした）も売っているとのこと。ブラウンスイス牛は存在自体この辺りではかなり珍しく、牛乳を飲んだことは一度ないので一体どんな味なんだ・・・と興味が沸きました。そこで、当初と目的は変わりましたが、牛乳の飲み比べしてみよう！となりましたので、その感想を述べていこうと思います。ただ私は味覚がさっぱりです。味噌汁に出汁を入れ忘れても気にならず飲むやつです。ので、味はみなさんご自身で確かめてみてください。

最初に“木次パスチャライズ牛乳”を飲みましたが、なんだこれ！牛乳じゃない！となりました。味も口当たりも全然違います、いつもの牛乳より甘味があり、さらっとしている？後味さっぱりでした。続いて“搾乳日まで分かる低温殺菌牛乳”ですが、木次と同じパスチャライズでも味が違います。口当たりはこちらの方が少しトロっとしている？やはり甘味があります。ちなみにこの牛乳は、エサに占める牧草の割合を少し高くしているそうです。続いて一番気

になるブラウンスイス牛乳ですが、個人的にはこれが一番おいしかったです。他のパスチャライズ牛乳よりもさらっとしていて、後味がさっぱりしています。牛乳のにおいや口に残る感じも少なかったので、ごくごく飲みました。最後に、ホルスタイン種のパスチャライズ・ノンホモ牛乳ですが、最初に書いたチーズを作るのに使ったので飲んでいません。チーズは失敗してあんまりおいしくなかったです。

飲み比べてみましたが、牛でも殺菌方法でも餌の差でもこんなに味が変わるとは驚きました。牛乳は奥が深いです。皆さんもぜひ、いろんな牛乳を試してみてください。



## 山奥の防護柵、扉

岩柳支部 三好雅和

(柳井農林水産事務所畜産部)

宮崎県、大分県、熊本県の県境付近にある祖母・傾山の縦走路での一風景です(写真1)。このあたりの山々は奥深く静かであり、九州で絶滅したと言われるツキノワグマが最後に確認された場所でもあります。40年以上も前の記憶をたどって登ったところ、樹木が少なくなった気がしました。また、縦走路のいたるところに金属製ワイヤーやロープで作られた防護柵があり、看板には「シカによる被害防止のために設置」との記載がありました。金属製のものはCSF対策で養豚農場周辺に設置されているイノシシ防護柵とほぼ同様の頑丈な構造でした。奥深く急峻な尾根にこのような施設を設置するには大変な労力が必要であり、シカの被害に非常に悩まされていることが窺えました。地形の関係でゲートを空き閉めする場所もあり、そこでは「通過時にゲートを開けたら必ず閉じてロックしてください。」との表示もありました。まさか九州の奥深い山中でこのような施設を見るとは思いもしませんでした。地元集落が急激に過疎化する中、シカが増えて山の主役になっているようです。新型コロナでは人が「密」

となる状況が問題となっていますが、山奥では逆に「疎」となったことが環境を大きく変化させているのでしょうか。

一方、写真2は富山県の黒部溪谷の奥深くにある仙人谷ダムの一風景です。周辺の地下には水力発電用の水路や専用軌道などの主要な施設があります(吉村昭氏作の小説「高熱隧道」で有名な黒部第3発電所の建設工場の舞台です。)。急峻な地形であることに加え、積雪量の多さからダムや特定の施設以外は全て地下に設置されています。過去に黒部第4発電所、インクラインや専用軌道などを見る機会がありましたが、まさに地下要塞の様相でした。当然ながら、このあたりの地上は「人の生活圏」ではなく「クマたちの生活圏」です。地上に通ずる場所のすべてにこのような鋼鉄製の扉があります。監獄の扉のような感じです。「扉を開けた後は必ずカギをかけるように」との表示がありました。関西電力の職員さんの話では、カギをかけないとクマが扉を開けて施設に入ってくるとのことです。いわばクマたちの居住地に人が施設を作らせてもらっているス

タンスであり、人が「檻」に入って仕事をしている感じです。人里離れた山奥の苦労を痛切に感じると同時に、中国山地の奥深くで防護柵に囲まれて養豚にたずさわる農場の皆さんの苦労が頭をよぎりました。ちなみに、早朝、このゲートを抜けて黒部川の

上流に向かいましたが、付近のダム堰堤の通路には新鮮なクマの糞が点々とありました。当方、「クマさん、迷惑をかけないので近くには来ないでね！」と呪文を唱えつつ水音凄まじい黒部溪谷を遡上しました。



障子岳山頂付近



仙人谷ダムの管理施設の出入口

## 山口大学農学部獣医学科・共同獣医学部のルーツ

山口支部 中間寛徳

(山口大学名誉教授・東亜大学客員教授・元山口県獣医師会会長)

皆さまお元気でご活躍の事と拝察致します。現在コロナ禍で日本は勿論世界中でこれまで経験した事のない大変な時期を迎えています。何とかこの難局を乗り越えて元の活気ある日本にしたいですね！

ところで、山口大学農学部獣医学科・共同獣医学部のルーツを関係の皆様知って頂くことは意味のある事と考え、山口県獣医師会会報へ投稿しました。しかし、会報は山口大学に関係のない方も多いので、その事を獣医師会報編集委員会に諮って頂きたいと申し入れしました。委員会では掲載しても良いとの了承を戴きましたので、ここに投稿致します。

山口大学50周年記念誌(平成11年3月発行)の1ページにある“創立前史”には、【農学部の前身である山口高等獣医学校が吉敷郡小郡町に創立されたのは、太平洋戦争も末期、敗色が漂い始めた1944年(昭和19年)1月である。翌年3月には山口獣医畜産専門学校と改称され、1948年(昭和23年)末に下関市長府町へ移転となった。山口大学農学部への発展的な改称に伴い1952年(昭和27年)に廃校となった。8年の短い歴史だったが202名の卒業生を世に送り出した。】と記載されています。

山口獣医専門学校三期の卒業生で日本大学農学部畜産学科へ進学され、東京大学農学部家畜内科学助教授を経て、日本獣医畜産大学(現・日本獣医生命科学

学大学)家畜内科学教授から退職後名誉教授となられた本好茂一先生とは、カナダ・モントリオールでの世界獣医学会の他、国内でも何回も会っていました。東京の学会で会った時、山口獣医専門学校の卒業生がだんだん少なくなって寂しくなっているので、専門学校があった小郡の地に山口獣医専門学校の記念碑を作るように働きかけて頂けないかと、当時山口県獣医師会会長を務めていた私に相談がありました。2000年5月の山口県獣医師会総会の後、懇親会の席で私は本好先生のご提案を披露し、獣医専だけでは寄付が集まり難いと判断し、「山口大学獣医学科発祥の地」という文言を記念碑に書くようにして、大多数の賛同を得ました。山口県獣医師会入口(JR山口線下郷駅近くのふれあい通り)に小郡町の土地が三角地に残っているところを小郡町長から提供して頂き、獣医専と大学の卒業生からのカンパで自然石の立派な記念碑が完成し、2001年3月4日には除幕式が本好先生を招いて挙行されました。自分を育ててくれた母校のルーツを知ることは、同窓の絆を強める事にもなります。未だ見たことのない方は一度訪ねてみて下さい。

「山口獣医専跡 山口大学獣医学科発祥の地」と書かれた記念碑

写真説明：

- ① ふれあい通りに立っている山口県獣医師会館入口の看板と獣医専跡の石碑。
- ② 筆者と記念碑。
- ③ 記念碑裏には下記の事が書かれています。

学舎変遷

1944.4.~1948.12. 小郡町下郷  
 1949.1.~1966.12. 下関市長府  
 1967.1.~ 山口市吉田  
 2001年1月 建立  
 記念碑建立発起人会



### 令和3年度獣医学術中国地区学会の開催について(変更)

会報8月号で、お知らせしました「令和3年度獣医学術中国地区学会」については、担当の(公社)広島県獣医師会から、新型コロナウイルス感染症拡大により、対面開催を中止し、講演動画による選考とする旨の通知がありましたので、お知らせします。

なお、令和4年1月に開催が予定されていましたが「令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会」についても、対面開催を中止し、オンデマンド配信によるオンライン開催となりました。

### 事務局だより

8月4日 ・第2回学会運営委員会 (県獣会館)  
 8月6日 ・県獣医師会員名簿作成協議 (県獣会館)  
 8月11日 ・県獣医学会講演要旨集作成協議 (県獣会館)  
 8月20日 ・学会会場打ち合せ (防長苑)  
 8月24日 ・会報編集委員会 (県獣会館)

8月29日 ・山口県獣医学会 (防長苑)  
 8月29日 ・「ニューレジリエンスフォーラム山口県呼びかけ人会」発足式  
 (ホテルニュータナカ)  
 8月4日、19日 ・事業推進会議

次回編集委員会 9月28日(火) 13:30~

山口県獣医師会会報 第724号 令和3年9月10日 (毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

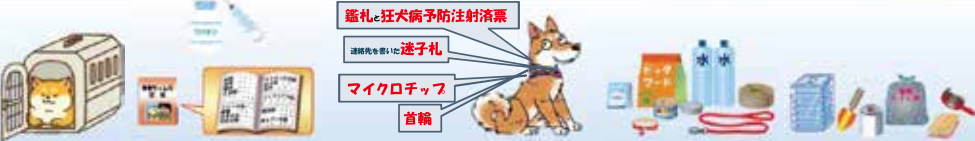
http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 上田 晋平

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

# 災害への備え できていますか？



鑑札と狂犬病予防注射済票  
連絡先を明記した 迷子札  
マイクロチップ  
首輪

日頃からのしつけ・健康管理、所有者明示、  
避難用品・備蓄品の確保が大切です！

毎年9月、10月は  
「動物の飼い方マナーアップ強化期間」です。

山口県・市町・(公社)山口県獣医師会・(公社)山口県動物保護管理協会



人と動物がなかよく、快適に暮らしていくために

入場無料

# 飼主カUP<sup>+</sup> キャンペーン

令和3年

9/21<sup>火</sup>→24<sup>金</sup>

9:00~17:00



まもるちゃん



あいちゃん

限定イベント

9/23<sup>木祝</sup>  
9:00~12:00

会場

山口県動物  
愛護センター  
山口市陶10943-12  
※裏面に地図あり

9/23(木・祝)限定イベント開催♪

9:30~  
11:30

## 『犬のしつけ方教室と アジリティ体験』

プロの訓練士さんからしつけのアドバイスを  
もらえるチャンス!

広場に設置されたシーソーやハードル、  
トンネルなどのアジリティ体験もできます。

☆犬を連れて参加を希望される方は、事前に申し込みが必要です。  
詳しくは裏面をご覧ください。

参加  
無料

要申込



## 手作り体験 コーナー

期間中開催

●猫のおもちゃ ●迷子札 など

## 犬猫 なぞときラリー

クイズを解いて、犬猫博士になろう!

参加者にはもれなく

「まもるちゃん あいちゃん」

グッズをプレゼント♪

期間中開催

## モデル犬お散歩体験

(要事前予約)

※9/23(木・祝)は行いません。

- 事前に申し込みされた犬以外の動物は、持ち込み禁止です。
- 雨天等の場合は、内容の一部を変更する場合があります。
- 来場の際は、検温、マスク着用、手指の消毒にご協力をお願いします。



お問合せ先

# 山口県動物愛護センター

■主催/山口県 ■後援/(公社)山口県獣医師会

☎083(973)8315

開館時間 9:00~17:00 (但し、土・日曜日・祝日及び年末年始を除く)

山口市陶10943-12

山口県動物愛護センター |

検索

# 犬のつけ方教室とアジリティ体験



## 参加者 募集中 参加無料



愛犬と一緒に参加される飼主さん10組を募集しています。

プロの訓練士さんからしつけのアドバイスをもらえるチャンスです。  
広場に設置されたシーソーやハードル、トンネルなどのアジリティ体験もできます。



- 申込締切 令和3年9月10日(金)※応募多数の場合は抽選になります。
- 参加資格 県内に在住する犬の飼主さんと愛犬

### 《愛犬の参加条件》

- ・ 狂犬病予防法に基づく登録及び令和3年度の狂犬病予防注射を接種済みであること。
- ・ 主要な混合ワクチンを接種済みであること。
- ・ 生後1年以上の犬については、不妊去勢手術済みであること。

- 申込方法 電話でお申込ください。  
山口県動物愛護センター TEL: 083-973-8315 (平日 9:00~17:00)

